

日本語表現論

責任者・コーディネーター	人間科学科（文学分野） 平林 香織 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科（文学分野）		
担当教員	平林 香織 教授		
対象学年	第1学年	期間	前期
区分	講義	時間数	21時間
単位数	1単位		

■ 学習方針（講義概要等）

マスメディア、インターネット、携帯電話などの発達により、現代人のコミュニケーションは、かつてないほど豊かに、複雑になってきている。その一方、身近な隣人とコミュニケーションをとれない若者や、患者さんとの信頼関係を築けない医療人の存在などが大きな問題ともなっている。日本語を生きる私たちは、より良いコミュニケーションのために日本語についての知識や理解を欠かすことが出来ない。そこで日本語を様々な視点から把握してコミュニケーションに役立てたい。

■ 一般目標（GIO）

問題意識をもって、わかりやすく考え、具体的に表現するという表現三原則を実践することにより、他者を深く理解し自己を正しく表現するためのコミュニケーション能力の獲得を目指す。他者に敬意を表することの意味を理解し、TPOをわきまえた様々な文書作成ができるようにする。正しく魅力的な表現のコツを身に付けより良いコミュニケーションのためには、どのような工夫や配慮が必要かを考え、日常生活の実践に役立てる。

■ 到達目標（SBO）

1. コミュニケーションとは何か、その目的、方法について理解を深める。
2. 言葉とは何かについて理解する。
3. 言葉と心との関係について理解する。
4. 日本語表現の仕組みについて理解を深める。
5. 日本語の文の構造や語彙について理解を深める。
6. 手紙文・報告文など実践的な表現について理解を深める。
7. 敬語、伝統的な表現など様々な日本語について知識を身につけ、理解を深める。
8. コミュニケーションの技術を知り、自らのコミュニケーション能力を高める。

■ 講義日程（クラス1・3学部合同）

【(矢) 東・マルチメディア教室】

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C1	4/13	水	1	文学分野	平林教授	フィルターをはずすー見たこと作文ー
C1	4/20	水	1	文学分野	平林教授	こころの目を開くーみないことへの挑戦ー
C1	4/27	水	1	文学分野	平林教授	耳を澄ますーオノマトペによる表現ー
C1	5/11	水	1	文学分野	平林教授	自分の声を聴くー日本語の音数律ー
C1	5/18	水	1	文学分野	平林教授	しなやかな思考力ー想像力と創造力ー
C1	5/25	水	1	文学分野	平林教授	日本語におけるさまざまな修辞法
C1	6/1	水	1	文学分野	平林教授	日本語におけるさまざまな慣用表現
C1	6/8	水	1	文学分野	平林教授	思いを伝えるためのエッセイ
C1	6/22	水	1	文学分野	平林教授	感動を伝えるための評論文
C1	6/29	水	1	文学分野	平林教授	わかりやすい報告文
C1	7/6	水	1	文学分野	平林教授	実用的な文章ー手紙ー
C1	7/13	水	1	文学分野	平林教授	実用的な文章ー企画書ー
C1	7/20	水	1	文学分野	平林教授	待遇表現ーさまざまな敬語ー
C1	8/24	水	1	文学分野	平林教授	レポートのまとめ方ーデータ解析と考察ー

■ 講義日程（クラス2・3学部合同）

【(矢) 東・マルチメディア教室】

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C2	4/15	金	2	文学分野	平林教授	フィルターをはずすー見たこと作文ー
C2	4/22	金	2	文学分野	平林教授	こころの目を開くーみないことへの挑戦ー

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C2	5/6	金	2	文学分野	平林教授	耳を澄ますーオノマトペによる表現ー
C2	5/13	金	2	文学分野	平林教授	自分の声を聴くー日本語の音数律ー
C2	5/20	金	2	文学分野	平林教授	しなやかな思考力ー想像力と創造力ー
C2	5/27	金	2	文学分野	平林教授	日本語におけるさまざまな修辞法
C2	6/3	金	2	文学分野	平林教授	日本語におけるさまざまな慣用表現
C2	6/10	金	2	文学分野	平林教授	思いを伝えるためのエッセイ
C2	6/17	金	2	文学分野	平林教授	感動を伝えるための評論文
C2	6/24	金	2	文学分野	平林教授	わかりやすい報告文
C2	7/1	金	2	文学分野	平林教授	実用的な文章ー手紙ー
C2	7/8	金	2	文学分野	平林教授	実用的な文章ー企画書ー
C2	7/15	金	2	文学分野	平林教授	待遇表現ーさまざまな敬語ー
C2	8/26	金	2	文学分野	平林教授	レポートのまとめ方ーデータ解析と考察ー

■ 教科書・参考書

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	『考えて書く日本語』改訂版	平林 香織	信毎書籍出版センター	2008

■ 成績評価方法

毎時間書いてもらう作文を5割、試験を5割とする。

■ 特記事項・その他

1. 講義は医学部、歯学部、薬学部の合同クラスで行う。
2. 学生を2グループに分け、クラス1(C1)は水曜日の1時限目に、クラス2(C2)は金曜日の2時限目に講義を行う。

■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (Panasonic)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット (エルモ、東芝、他)	1	講義資料の提示